



楽しく描いて…

絵を描く暮らしで思うこと

「長岡の新しいPR誌にイラストを描いてもらえませんか？」その電話を受けたのは昨年九月のことでした。「文の林」目次ページの背景スケッチを描いてほしいとのこと。普段はカルチャー教室で色えんぴつ画の講師をさせていただいてますが、印刷物の依頼を受けたのははじめてで、少し不安もありました。でも、とにかくやってみよう、やる！と決めて制作しました。必死で描いたので、創刊号ができ上がった時はとても感激しました。

今号で「文の林」も第三号を迎えましたが、スケッチを描くときに心掛けていることは創刊号の時から変わらず、心を込めて描くことです。読者の方の心が和んでいただけますように…と思いつながら描いています。

前述しましたが、絵の仕事は主に講師です。教室では「楽しく描く」がモットーです。何人かの生徒さんに「私は下手だから」と言われたのがきっかけでした。私は下手だから…の後に「絵を描くのは好きだけど、楽しめない」と続きます。この事に気付いてから、教室は仲間どうし明るく励ましあい、楽しんで描くことが大切だと思ふようになりました。

長岡の皆さんが（絵に限らず）趣味等を通してもっと元気になるように願っています。

渡部 司（イラストレーター）